

- ・新外科病棟 8月運用開始へ
- ・乳腺外科 新任教授挨拶
- ・『いい病院 2007』で本院が上位にランク
- ・キャンサーボード
- ・総合支援相談係を設置

## contents

- ・緩和ケアチーム
- ・口腔外科 歯科インプラント手術について
- ・人命救助の本院看護師、JR 東日本から感謝状
- ・採血ガイドラインを発行
- ・各種講演会 ・ 本学医学生クリニカルクラークシップ



### ■新外科病棟 8月運用開始へ

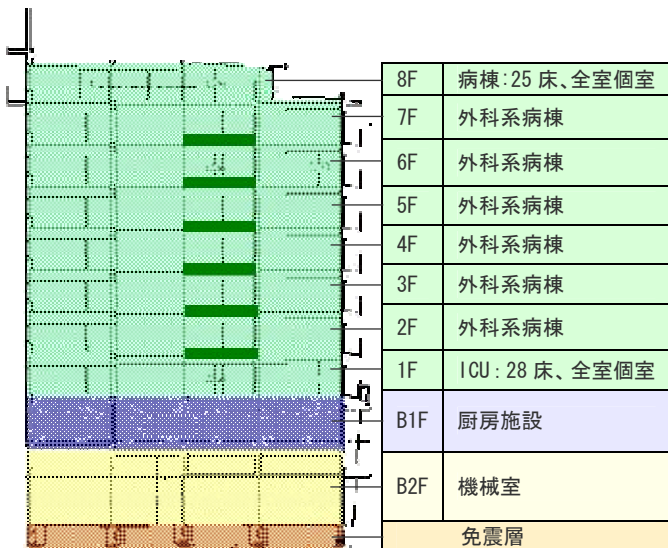
現在の日本は、負担可能な医療費に限度がある中で、医療の需要が増大するという厳しい状況があります。その中にもあっても、杏林大学病院は東京西部・多摩地区の中核医療機関として、地域住民の方々に、高度で、質の高い、安全で安心して受けられる医療を提供していく努力をしています。

本年8月1日より新外科病棟の運用を開始します。その基本目的は地域住民の方々により質の高い、より安全な医療を提供する事にあります。

新外科病棟には外科系各科（消化器科・一般外科、呼吸器科・甲状腺外科、乳腺外科、泌尿器科、脳外科、形成外科・美容外科、整形外科、救急医学、麻酔科）が入ります。

新外科病棟と中央手術室の連絡はスムーズに行えるように設計されています。大きな手術後には1階のICUで専門スタッフが術後管理を集中的に行い、安全性と医療の質の向上をめざします。

ICU病室は患者様のプライバシーに配慮し全て個室になっているほか、各室には、治療効率を上げるためにシーリングペンダントを設置し、早期離床用のトータルケアベッドが設置されます。



新外科病棟断面図

2007年4月 病院長 東原 英二

2階から7階の病棟は、各室に目が行き届くよう、スタッフステーションを中央に配置しています。窓から緑を眺めることのできる病室は、従来より面積が広く、部屋毎にトイレ・洗面室・インターネットへの接続設備・蓄尿装置等の設備を整え、利便性・快適性を追求しました。これらにより急性期患者の治療も一層安全に行えるものとなります。

各階には患者様とご家族がくつろげる空間としてラウンジとテイルームを設けました。最上階の8階25床は全て個室で、屋上庭園越しの眺望も良いものになっています。

地下1階は病院全体の入院食をまかなう厨房施設です。① HACCPに沿った優れた衛生管理、② オール電化の厨房設備、③ クックチルスシステムの導入など設備やシステムを整えましたので、全病棟の患者様により安全でより良質な食事の提供が可能となります。

また、新外科病棟は多くの杏林大学病院の建物と同様大きな地震に耐えられる免震構造として、安全な医療を継続して提供できる建物になっています。

## 杏林大学病院Topics

### ■乳腺外科 新任教授のご挨拶



この度、乳腺科を担当させていただきます井本滋です。乳癌は現在も増え続けている女性の悪性腫瘍の一つです。以前は手術が治療の主体でしたが、今は個々の病状に応じて手術、くすり、放射線をうまく組み合わせさせて治療する時代です。私の夢は、大切な乳房にメスを入れずに完治できる治療法の開発です。患者様と家族の皆様と共に考える医療を実践し、さまざまな分野の専門家と連携しながら臨床、教育、研究に邁進して参ります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### ■『手術数でわかるいい病院'07』

#### 6疾患の治療で本院が上位にランク

朝日新聞社は全国約2千の医療機関を対象に、がん、心臓病、脳疾患、目の病気、整形外科の治療について手術数やその内訳を調査し、その結果から手術数の多い順にランキングを作成しています。

本院は網膜硝子体手術等(全国4位)、脳腫瘍手術(同15位)、脳動脈瘤開頭術(地方別28位)、乳がん手術(同29位)、肺がん手術(同20位)、前立腺がん手術(同17位)にランクされました。

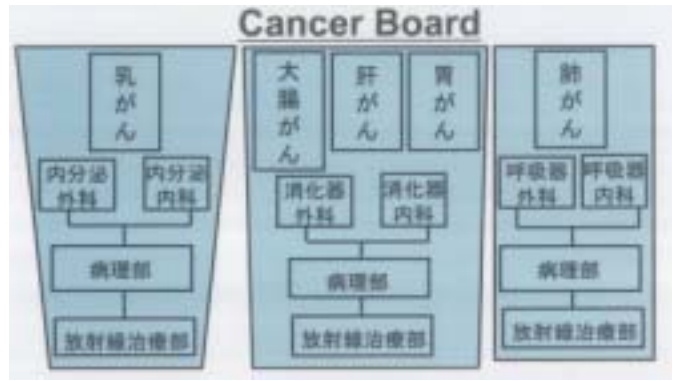


【杏林大学医学部付属病院】  
〒181・8611 三鷹市新川6・20・2  
TEL 0422・47・5511(代表)  
ホームページ <http://www.keioin-u.ac.jp>

## ■ キャンサーボード

進行・再発がん症例は複雑な病態を有しており、多臓器にわたる治療が必要になることが増えてはおりません。従来はがんが発生した臓器を専門とする臨床科が主治医となり、病態の関連する臨床科に個別にコンサルテーションして対応を決定してきましたが、これでは最終的な治療方針の決定までに長時間を要し、そのプロセスも非効率的でした。

そこで本院では、患者様が標準化されかつ高水準の治療が受けられるように、昨年10月より下図組織（キャンサーボード）を作り、関連する臨床科の医師が一同に会して問題症例の検討を行い、治療方針の決定を行うようにしました。



## ■ 総合支援相談係を設置しました

本院ではがん診療をより効果的に地域の中で行うために、総合支援相談係を設置しました。総合支援相談係では、患者様やご家族が治療に取り組み際に、必要な情報を得ることができ、不安が軽減されるよう個々の相談に対応いたします。窓口は専任の看護師とソーシャルワーカーです。

たとえば、このような相談をお受けします。  
 \* 各がんの病態、標準的治療方法等、がんに係る一般的な医療情報の提供  
 \* セカンドオピニオンについてのご相談  
 \* 患者様の療養上の相談  
 \* 本院で提供できる医療内容についての紹介



## ■ 緩和ケアチーム

昨年10月、院内緩和ケアチームがスタートしました。がん・AIDSによる痛みや治療による身体的・精神的な苦痛のある患者様が対象です。チーム構成メンバーは、麻酔科医師・精神科医師・がん専門看護師・看護師・薬剤師です。当チームは各科からのコンサルテーションの形式をとっています。

対象の患者様に回診を行い主治医、病棟看護師と共に治療方法を考えています。チームの介入によって多くの患者様の痛みや苦痛症状が緩和できるようになりました。今後は緩和ケアの質の向上が図れるように活動していきたいと考えています。

## ■ 顎口腔科では歯科インプラントを行っています

顎口腔科では顎骨に直接人工歯根（フィクスチャー）を埋入して歯冠修復を行い、機能回復を得る歯科インプラントを行っています。この手術は、手術室で全身状態をモニタリングしながら安全に行います。全身的な疾患をお持ちの患者様には、他科と連携して診察を行います。特に上顎の症例では、耳鼻科医が鼻・副鼻腔の診察を併せて行うなど、連携は万全です。保険適用外のため検査等を含めてすべて自費治療です。ご相談の予約はありませんが、外来診察日に随時受け付けています（月水金）。詳細はインプラント担当医までお問い合わせください。



## ● 治験のお知らせ

杏林大学病院では、間質性膀胱炎の治験を実施中です。また、多発性嚢胞腎の治験を7月より実施予定です。該当する患者様がおいでしたら、泌尿器科にご紹介下さい。

## ● 院内コンサート

桐朋学園大学音楽部のご好意で、外来ロビーで院内コンサートを行っています。土曜日の午後、音楽を楽しんでみませんか。

- 2007年日程: いずれも 15:30-16:30
- ・ 4月28日 (土)
  - ・ 7月7日 (土)
  - ・ 10月13日 (土)
  - ・ 12月8日 (土)

## 杏林大学病院Topics



### ■ 人命救助の本院看護師、JR東日本から感謝状

JR 青梅線日向和田駅で心肺停止に陥っていた方の人命救助を行ったことで、本院C-5病棟勤務・林由美看護師に、3月29日JR東日本から感謝状が贈られました。

### ■ 採血ガイドラインを発行

日本臨床検査標準協議会は、本院 渡邊卓教授（臨床検査医学）を中心に標準的採血法の検討を行い、昨年11月にわが国初の「標準採血法ガイドライン・成案」を発行しました。



### ■ 三鷹市老人クラブで講演会

三鷹市の老人クラブ連合会と本院が共催して地域の方々に病気の治療や予防などの情報を提供する講演会を4月27日（金）三鷹市公会堂で開催することになりました。今回は本院高齢医学の鳥羽研教授が、転倒によるリスクや転倒事故の予防法について講演します。今後は脳神経外科や泌尿器科の医師による講演会を行うことにしています。

### ■ 杏林大学公開講演会

杏林大学では今年度も本学の特色を活かして、身近なお役に立つような医療・健康・社会問題・ことばや文学などをテーマに公開講演会を実施します。多くの皆様のお越しをお待ちしております。

（広報・企画調査室）

### 5-6月の講演会のご案内

- 5/26 (土) 13:30-15:00 知っておきたい脳卒中のはなし
  - 6/26 (土) 13:30-15:00 いのちのエンジニア：臨床工学技士
- 《会場：三鷹キャンパス》  
 入場無料・申込不要